

令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

職員 7名実施

放課後等デイサービス 大空

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			遊びなど広さがもう少し広げればと思う場面がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			適切であると思われます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	3	階段からの転倒防止の為に、手すりや柵、滑り止めが設置している。 玄関部分の段差が気になる。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			毎日のミーティングを通して評議しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			1年に1度行い、保護者の方の意見を把握して、業務改善を出来る限り行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			保護者面談の時に結果を配布しています。また、ホームページ等でも添付して見れるようにしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3	
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	7			質の向上の為、週に1度時間を設定し学習を行っています。研修に関してはオンラインを通して少しずつ行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			職員間で話し合い、作成をしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			毎月のプログラムを打ち合わせを行い、利用児童に楽しんでもらえる活動を提供し、その中で目標を立てて活動内容を決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			日々工夫をしてプログラムを作成しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			毎朝のミーティングで話し合いを行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			計画を正確に作成していると思われます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎日、ミーティングを行い、活動内容や配置などホワイトボードに書き、スムーズに行えるように工夫をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		支援の振り返りは、翌日の朝に行っている。しかし、長期休暇の時の振り返りは出来ていない事がある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			毎日記録を行い、次の日のミーティングで共有し検証・改善を行うようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			3～6か月に1度モニタリングを行い、支援の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			管理者及びサービス管理責任者が責任をもって参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		その都度学校との連絡を行い、関係性を築いています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7		今現在は、医療的ケアの児童がいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		相談支援事業所の方と引き継ぎ（情報共有・交換）を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7		今現在、卒業して移行する児童がいない為、情報を提供する事はありません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		7		連携や助言は受けていません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	2	交流は今現在はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	4	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時や来所時、保護者面談時にお子さまの様子をお話しするようにしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	4	ペアレントトレーニング資格者がいません。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時や支援計画の時に詳しくお話をしています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			相談があった時には時間を作り適切に行っています。また、様子が変だと感じた場合は、来所してもらい話し合える関係を築くように心掛けています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7		保護者会が行えていないので、次年度は行っていく方向で考えています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情が今現在出ていないが、マニュアル化は出来ている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月通信を発行し、活動の様子や連絡事項など行うように心がけています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	7			書類関係はしっかり保管しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			言語だけの説明だけでなく、視覚を通して具体的に図に表したりする工夫を行っています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7		交通安全教室など、地域の方に案内は出していますが、参加は見られていません。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			保護者の方への周知が出来ていませんが、細かく作成されたマニュアルはきちんとありますが、不足部分もあります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			訓練は行っています。消防署へ行き、地震体験も行っています。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止研修は年に数回行っている。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			やむを得ず身体拘束しそうな利用児童には保護者の方に同意書を書いてもらい、そのような場面があった場合は施設内のカメラを見てもらいようにし、支援計画にも記載しています。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4		今現在、アレルギーの支持がある児童がいません。
	㉕	ヒヤハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			毎日ヒヤリハットの申し送りは行っている。検討事項も話し合いもしています。